



矢倉みらい通信

Yagura Mirai Tsushin

発行
矢倉学区未来のまち協議会
連絡先
TEL・FAX 077-565-1560
E-mail yagura@machikyou.jp

ホームページ
http:machikyou.jp/yagura

矢倉学区 (8月1日現在) (前月比増減)
人口 9,944人 (+22人)
男性 4,888人 (+5人)
女性 5,056人 (+17人)
世帯数 4,390世帯 (+13世帯)

「子ども防災キャンプ」を開催！

今や地球規模の異常気象の影響下で、大規模の自然災害が私たちの身の回りにも降りかかりつつある中、今後も安心・安全に暮らすための「防災・減災」への備えは喫緊の課題となりつつあります。このため、当矢倉学区内でも様々な訓練を通して活動しております。

その備えの一環としての活動を、矢倉学区未来のまち協議会、元気な子ども育成推進部会等の協力を得て、矢倉まちづくりセンターと馬池北公園で、7月13日(土)から14日(日)の日程で「子ども防災キャンプ」を実施し、小学校3年生、4年生の16人の子ども達が参加しました。開催の狙いは「大震災時など、救援活動が即、受けられるとは限らない」との観点から、子どもたちも含めた家族が自らの判断で「自助」「共助」等の活動ができる実習体験をすることにあります。

今回は、防災訓練を主眼におき、ふいうちでの避難訓練に始まり、動力ポンプを使っての放水訓練やバケツリレー、水消火器での消火活動、そして簡易の避難所が必要となることを想定したテント設営等の訓練を実施しました。訓練後は、夕食のカレーを参加者全員で作りと、みんなで美味しく食べた後、お楽しみ時間として「マンカラゲーム」などで遊び、学年を超えての交流の場となりました。子ども達は、全てが初めての体験であり興味と不安に満ちた表情でしたが、真剣に取り組む姿が印象的でした。訓練を終えた子ども達からは「初期消火の大切さや素早く消す方法などがすごくわかりやすかった」「バケツリレーの大切さがよく分かった」等の感想があり、今後の事業の必要性と継続の重要性を強く感じました。

(災害対策本部)



安全に避難！



水消火器による頼もしい初期消火活動を体験！



バケツリレーも真剣！



テント設営も教わりました！



調理実習も訓練のひとつです



旧式のはんごうも活躍！



せーのっ！いただきます！



みんなで夢中！マンカラゲーム

わんぱくプラザ矢倉っ子「絵画広場」

夏休み初日の7月20日(土)、まちづくりセンターにて1年生～6年生までの30人の参加を得て掲題の教室を開催しました。

今年度も、自主教室で活動中の「萌黄水彩画サークル」の講師の方から「デッサンの描き方」や「濃淡のつけ方・光と影の付け方」、「形にとらわれず、のびのびと自由に描くこと」などの指導をうけながら学びました。

子どもたちは、夏休みの宿題の題材を描く子どもや、図鑑を見ながら大好きな昆虫を描く子ども、「美しいまち推進部会」から提供された生け花を描く子どもなど、画用紙に、楽しそうに思い思いの色づかいで熱心に取り組む姿が印象的でした。



のびのびと描こうね♪ 生け花を題材に挑戦中!

草津市民スポーツレクリエーション祭

7月15日(祝)、「草津市民スポーツレクリエーション祭」が開催されました。会場は新築されたYMITアリーナ(くさつシティアリーナ)で、矢倉学区からは、学区対抗種目の大縄跳びに矢倉町、ペタンクに大塚団地、ディスコンには馬池町が出場しました。草津市内から勝ち抜いてきたチームが揃っていたので、どの競技も熱戦が繰り広げられ、ナイスプレーが出る度に会場は大きな歓声に包まれました。各競技の結果は次の通りです。

- ディスコン 馬池町A…準優勝
 - 馬池町B…3位
 - 大縄跳び 矢倉町…4位
 - ペタンク 大塚団地…惜しくも
予選敗退
- (矢倉学区体育振興会)



渾身の一投



狙いを定めて



リズムを合わせて

矢倉やすらぎ学級第2講開催

**「大人のおしゃれ術」
おしゃれに見えるコーディネートのコツ♪**

7月17日(水)、標記講座を講師のカラー&イメージコンサルタントの村上瞳さんのご指導の下、グループごとにワークショップ形式で自分の好きな色や身近な人のイメージする色、色の生年表などを和気あいあい学びました。

また、洋服を選ぶ時のカラーづかひのコツや、ストールのお洒落な巻き方、小物を使ったおしゃれに見える使い方なども学びました。

参加者からは「もっと色々な巻き方を学んでみたい」「明日の洋服選びが楽しみ」など、前向きな声上がり、大変有意義な時間を過ごす事ができました。



講師の村上瞳さん



いつまでもおしゃれでいたいですね

わんぱくプラザ矢倉っ子

「貯金箱づくり・将棋体験」

7月27日(土)、矢倉まちづくりセンター大会議室にて親子11組の参加を得て開催しました。第1部の将棋体験では、ほとんどの子どもが初めて触る将棋の駒を前に、日本将棋連盟普及指導員の三宅英治さんから、「駒の動かし方」から「勝負の決まり方」までを教えてくださいました。また、指導用の大きな将棋板を使った「歩」や「王将」駒などの使い方など、講師の説明を熱心に聞き入っていました。

第2部では夏休みの自由課題でも取り組める「貯金箱づくり」にチャレンジしました。牛乳パックで作る簡単な作品ですが、老人クラブの坂爪さんから指導を受け、器用にハサミを使い、自由な装飾を施すなどしてかわいい「貯金箱」を完成させていました。

(わんぱくプラザ矢倉っ子実行委員会)



牛乳パックが変身 (^^)♪



一人前の対局です♪

グランドール南草津「笑みの会・押し花」教室

7月11日(木)、同町の集会所で押し花教室を参加者11人を得て開催しました。予め採取した花や葉をキッチンペーパーに並べ、電話帳に1か月挟み乾燥させます。それを葉書や葉サイズの紙を台紙にして、絵を描くように丁寧に並べ、ラミネートでラッピングすると、その結果「小さなお花畑」のような素敵な押し花の作品が完成しました。

参加された方から「配色が難しいですが、出来あがると嬉しいです」「お友達に額に入れてプレゼントしようかな」など、喜びの声を頂きました。

完成後は、ご自慢の作品を手笑顔で記念撮影に収まり、皆さん、とても充実した時間を過ごされたようでした。



作成に集中!



ブーケのように♪

「笑みの会」は、グランドール南草津町内会で植物の手入れや、勉強会、旅行等で交流を深めるサークルで、今後も楽しいイベントを沢山計画中だそう♪



ご自慢の作品を手笑顔ハイパチリ♪

矢倉学区の医療福祉を考える会

7月3日(水)、第11回矢倉学区の医療福祉を考える会議を「矢倉なりの見守りを広げよう」をテーマに開催しました。

主な会議概要は以下の通りです。

- 1.歩いて行ける範囲内での場所で、日頃からお近所同士が集まり、おしゃべりや一緒に楽しく過ごすことは、地域の見守りにもつながる。
- 2.居心地のよい場所での交流を継続することや、集まった人が自然になんらかの役割を担える関係は、日常生活の刺激となり認知症の予防にもつながる。
- 3.普段から顔の見える関係を密にしていくことはいざという災害時に「ご近助力」としての大きな力となる。

* 今後とも、この会議を通して矢倉学区のあちこちで笑顔や笑い声の聞こえる集いの場が少しずつ増えていくことを願って啓発活動を続けていきたいと思ひます。



子育てサロン

「よせて! いいよ!」だより



まだまだ暑い毎日、いかがお過ごしですか? 今年も毎月楽しく「子育てサロン」を開いています。

7月は、恒例のプール遊びでした。大・小2つのプールと、水が苦手なお子さんには、ボールいっぱい「ボールプール」で大騒ぎでしたよ。元気いっぱいプールで遊んだ後は、「スイカ割り」を楽しみました。みんなで冷たいスイカをお口いっぱいほおばりました。



プール遊びは楽しいね



みんなでチャプチャプ♪



スイカ割れるかな?

次回:9月25日(水)10時30分
プログラム予定:「おもいタイム」
スタッフ一同、心よりお待ちしております。

(矢倉学区子育てサロン)

こんにちは民生委員です!

今回は『広報委員会』活動の紹介です

- ・わが町の民生委員・児童委員のこと。
- ・民生委員・民生委員の活動状況。

* 子供から高齢者まで全ての人が笑顔で、住み慣れた家で、いつまでも暮らし続けたいと思うまちづくりを目指すことに役立つ民生委員・児童委員の活動状況などを「広報」にして皆様にお届けしています。

具体的には下記の広報活動を行っています。

- ①『民生委員活動紹介パネル』の作成と展示
ふれあいまつり矢倉等の市内イベントでパネル展示してPR、普段は矢倉まちづくりセンターに掲示
- ②市民児協広報紙『こぼと』の編集・発行
草津市の民児協の専門部会等の活動事例等を紹介した機関紙を全戸配布
- ③広報紙『やぐら民児協だより』の発行
矢倉学区の民生委員・民生委員の活動事例や思いを紹介した機関紙を全戸配布

これからも、各地域での皆様の身近な相談相手となる「民生委員・児童委員」として、お気軽に頼っていただけるため、「広報活動」を通してお役に立つ情報などを発信していきたいと思ひます。

御礼とお知らせ

矢倉学区社会福祉協議会様より矢倉まちづくりセンターに洗濯機を寄贈していただきました。ありがとうございました。



キラリン☆びと

健やかに暮す源は「食」にあり、粗末にせず、出来ることをやるだけです！

今月号は玄甫団地にお住まいの蓮井宣子さんにご登場いただきました。



玄甫団地
蓮井 宣子さん

蓮井さんは矢倉学区で「食」に関わる事業の多くに貢献されている活動家としてご存じの方も多いと思います。学区の健康推進委員や玄甫団地町内会のサロン代表、傾聴ボランティア、フードバンク等の事業を通して、地域の方々の健やかな日々に貢献できればとの思いで活動されています。蓮井さんの活動の信条は「メンバー同士、顔を合わせての絆が大切です。負担にならない程度にやるべきことを、出来る人がするのが長続きのコツ」だそうです。

最近の関心事では、「まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品がもったいない」とのことから、これらを困っている施設などに届ける「フードバンク」の活動にも関わらる中、今まで知らずにいたことが多くあったそうです。例えば「冷蔵庫に眠っている食品が使われずに大量に廃棄されている」ことや「食品配布を喜んで待ち望んでおられる人の多さに驚いた」ことなどです。老若男女を問わず貧困層が拡大している現状を目の当たりにされ、「自分の健康が続く限り、人の輪(和)を大切にしながら、少しでもお役に立てるよう、この活動も続けていきたい」とのことでした。

いつも精力的に活動されている秘訣をお尋ねすると「私は食すること、料理が大好きで、笑顔と絆、これが自活の源であり、健康維持にもつながっていると思います。これからも皆さんにお役に立つなら、私なりの活動を続けていきたいです」とのことでした。

今後とも、素敵なおエプロン姿で活躍される蓮井さんの姿にお会いできることを楽しみにしております。(M.U)

矢倉 ほっと一息

碧空に映えるコスモス



淡紅色など、鮮やかで優しい色合いのある秋桜の咲き誇る季節となりました。暑さが残る日常にもようやく秋の気配が感じられるお花ですね(K・I)

伝言板

まもなく終了です！

草津市指定ごみ袋引換券の使用期限

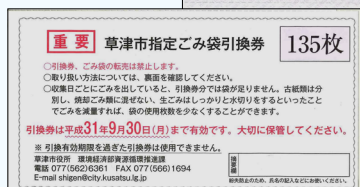
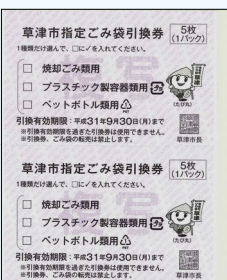
お手元にあるごみ袋引換券は

令和元年9月30日(月)

まで有効です。

引換有効期限を過ぎた引換券は使用できません。

(背景が薄紫色の券です)



矢倉みんなの保健室

チャイルドシートの習慣づけで交通被害から乳幼児を守りましょう！



幼い子どもはシートベルトの装着を自力で出来ないため、自分の身を自分で守ることに無理があります。

そこで、事故発生時の子どもの身の安全を確保するため、2000年4月の道路交通法改正により、チャイルドシートの装着が義務付けられました。「乳児なら抱っこしていれば大丈夫！」とチャイルドシートを使わない人をたまに見ますが、乳幼児にとって、とても危険でありまた法令違反となるので注意が必要です。

***乳児であってもチャイルドシートの装着義務は免除されません！**

なぜなら、車の衝突の衝撃は手に持っていた物が100倍以上の重さに相当し、どんなに気をつけていても赤ちゃんを支えるのは難しいのです。

最悪の場合、赤ちゃんが車外に放り出されてしまうケースもあります。なので、どんなに小さなお子さんであってもチャイルドシートの装着を必ず行う日頃からの習慣づけが大切なのです。

- チャイルドシートは6歳未満まで着用義務あり。
- ジュニアシートは体重15キロ以上で使用できるもので、6歳以上でも着用可能で安全です。

(K.F)

自動車の運転者は、チャイルドシートを使用しない6歳未満の幼児を乗せて、運転してはならないことが定められています(道路交通法第71条の3第3項)。